

今昔雅楽集

二、舞の絵巻



【出演】伶楽舎 れいがくしゃ

【演目】

◆第一部

芝祐靖 復曲…

伎楽 行道乱声

伎楽 獅子

伎楽 迦楼羅

伊左治直…

紫御殿物語・鳥瞰絵巻

◆第二部

舞楽 青海波

舞楽 蘭陵王

舞楽 落蹲

長慶子

*16時45分から伶楽舎メンバーによる
プレトークがございます。



Gagaku - Japanese Court Music - from Times Past II. Picture Scroll of Dances

Reigakusha, Gagaku Ensemble

Program

Part I

Sukeyasu Shiba, reconst.: Gigaku "Gyodo-ranjo"

Gigaku "Shishi"

Gigaku "Karura"

Sunao Isaji: Murasaki-goten Monogatari Chokan-emaki

Part II

Bugaku Seigaiha

Bugaku Ranryoo

Bugaku Rakuson

Chogeishi

Saturday, July 6, 2019. Open 16:30, Pretalk 16:45, Start 17:00

Art Tower Mito, Concert Hall ATM

¥3,500, U-25 ¥1,000

2019年7月6日[土]

16:30開場*16:45プレトーク*17:00開演

水戸芸術館コンサートホールATM

◎料金(全席指定):一般3,500円/U-25(25歳以下)1,000円

*U-25チケットの取り扱いの水戸芸術館のみ。

◎チケット発売:2019年2月23日[土]

財団運営維持会員先行予約:2月19日[火] ※電話予約のみ

友の会(一般、法人)会員先行予約:2月20日[水]

※電話・web(要登録)予約のみ

主催:公益財団法人 水戸市芸術振興財団

水戸芸術館
ART TOWER MITO

今は昔、朱雀院での紅葉賀の折、赤や黄色の紅葉の舞い散るなか、光源氏と頭中将が萌黄の舞装束をまとい「青海波」を舞う姿は、美しさたるやこの世のものと思えぬほどで、「色々に散り交ふ木の葉のなかより、青海波の輝き出でたるさま、いと恐ろしきまで見ゆ」と、紫式部は書き記しました。大河小説『源氏物語』のなかでも、とりわけ美しい場面の一つです。

『源氏物語』には、様々な場面で雅楽の音楽と舞が登場します。「紅葉賀」の帖で、光源氏と頭中将がたおやかな「青海波」を舞えば、その20年後を描いた「若菜」の帖では、彼らの息子たちが、躍動的な「落躑」の舞に加わって、かつての父親たちを彷彿とさせる素晴らしい舞姿を披露します。「落躑」は舞楽でもっとも有名な「蘭陵王」と対をなし、「蘭陵王」は『源氏物語』の「御法」の帖で、無常の哀しみのなかで舞われます。紫式部は物語のなかに雅楽を散りばめ、まるで雅楽に託して「もののあはれ」を伝えようとしたかのようです。

今に伝わる雅楽の古典から、演奏伝承が途絶えた楽曲、現代に生

まれた新作までを集めた「今昔雅楽集」。第2回は、前回ご紹介できなかった舞の音楽を中心に、現代最高峰の雅楽演奏家集団「伶楽舎」の演奏でお贈りします。

雅楽の古典からは『源氏物語』にも登場する舞楽の名作3曲。千年の時を経てこれらの曲が今に伝わっていることには驚くばかりです。しかし一方で、歴史のなかで衰退していった音楽もありました。「伎楽」は雅楽とともに古代に大陸から伝来した仮面舞踊。楽譜と仮面だけが残り、演奏と舞の伝承は失われてしまいましたが、獅子舞や猿楽の源流といわれる芸能です。伶楽舎音楽監督の芝祐靖が復曲した伎楽の音楽からは、格式化された雅楽にはないエネルギーが感じられることでしょう。現代作品からは気鋭の作曲家・伊左治直が創り出した架空の宮廷音楽「紫御殿物語・鳥瞰絵巻」を。メキシコ原産の花の名を冠したこの作品は、いわば想像上のもう一つの雅楽。あるいは別世界へのサウダージ（憧憬）でしょうか。時空を超えた雅楽絵巻が、ここに広げられます。

古代と平安と現代 シルクロードと日本と幻想世界 めくるめく雅楽絵巻



伶楽舎 (れいがくしゃ) Reigakusha, Gagaku Ensemble

雅楽の合奏研究を目的に1985年に発足した雅楽演奏グループ。音楽監督・芝祐靖。現行の雅楽古典曲以外に、魔絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、幅広い活動を展開。国内各地の他、海外の主要ホールに招聘されて演奏。古典曲や現代曲、復元曲のCD等も多数録音。現代作品や古典雅楽様式の新作として、これまで湯浅譲二、池辺晋一郎、増本伎共子、西村朗、猿谷紀郎、権代敦彦、伊左治直、芝祐靖他に作品を委嘱、自主公演で初演。2002年中島健蔵音楽賞特別賞、CD『秋庭歌一具』で2002年度芸術祭レコード部門優秀賞受賞。第16回(2016年度)佐治敬三賞受賞。他に、解説入りの親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及に努め、子どもや小中

学生のためのワークショップなども数多く開催している。なお「伶楽舎」とは「伶楽舎遊舎」、即ち、楽人の祖とされる古代中国の「伶倫」に因み、雅楽の源と新しい雅楽の創造を探索する、自由な活動を目指してつけられた会名である。

国内では、国立劇場、サントリーホール等主要ホールでのコンサートの他、全国の小中学校で公演。海外では、タングルウッド(セイジ・オザワ・ホール)、ニューヨーク(リンカーン・センター、カーネギー・ホール)、ロサンゼルス(ウォルト・ディズニー・コンサートホール)、シカゴ(シンフォニー・センター)、ロンドン(クイーン・エリザベス・ホール、大英博物館)、アムステルダム(コンセルトヘボウ)、ケルン(ケルン・フィルハーモニー・ホール)、パリ(フィルハーモニー・ド・パリ)他、約30都市で演奏。

<http://www.reigakusha.com>

<https://www.facebook.com/reigakusha>

●チケットの取り扱い

水戸芸術館(9:30~18:00/月曜休館)
 ・エントランスホール内チケットカウンター
 ・水戸芸術館チケット予約センター 029-231-8000
 ・ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/tickets/ticket.html>
 e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)
 かわまた楽器店 029-226-0351
 ヤマハミュージックリテイリング水戸店 029-244-6661(店頭販売のみ)

●U-25チケットについて(枚数限定)

- ◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです(未就学児不可)。
- ◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。
- ◎当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。
- ◎取り扱いは水戸芸術館のみとなります。

●交通のご案内: JR常磐線水戸駅北口より、バスターミナル4~7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。
 水戸芸術館 水戸市五軒町1-6-8 〒310-0063
 TEL.029-227-8111 <https://www.arttowermito.or.jp/>



●お問い合わせ: 水戸芸術館 チケット予約センター 029-231-8000/営業時間: 9:30~18:00 (月曜休館)

◎車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、指定の座席へのスムーズなご案内のため予約時にお知らせください。

◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。◎公演の内容、曲目等は、変更になる場合があります。◎未就学児のご入場はご遠慮ください。